

高志館高校の特徴や誇れるもの

本校は、北部に脊振山地、南部に佐賀平野が広がり、嘉瀬川が北から南に流れる自然豊かな環境にある。また、肥前国庁跡や與止白女神社がすぐ近くにあり歴史を感じられる町に位置している。

佐賀市近郊の農村文化が残る町でもあり、米麦をはじめ、果樹・花卉農家も多く、松梅地区では伝統的な名尾和紙生産が続いている。本校の卒業証書も、名尾和紙を使用している。



地域の食材を活用した新製品開発

食品流通科では、地域の害獣駆除で出たジビエ肉の有効活用を目指し、佐賀大学と連携協力して肉加工に関する知識と技術を学んでいる。令和5年度には、食品クラブが流通科学大学（兵庫県神戸市）主催「高校生 食のSDGsアクショングランプリ」で準グランプリを獲得した。「豊かで持続可能な食を目指して」をテーマにしたコンテストで、

『イノシシ肉を使った「いのパン」の開発とジビエ肉の普及活動～持続可能な食料生産に向けて』を発表し、これまでの活動が評価された。



学校所在地:佐賀市大和町大字尼寺1698
 連絡先:0952-62-1331
 生徒数: 247名

カゼトゲタナゴの保全と魅力発信

世界で九州北部にしか生息しておらず、絶滅危惧種の中でも深刻な状況にあるIB類に指定されているカゼトゲタナゴを守るべく、減少理由の解明、解決策の考案と検証に取り組んでいる。また、これら佐賀の淡水魚の魅力を発信することで、持続的な保全活動の実現を目指している。



佐賀大和ロータリークラブとの植林活動

平成6年度より佐賀大和ロータリークラブと、社会奉仕活動の一環として、緑地デザインコースの学習を生かし、植樹活動を実施している。巨石パーク（佐賀市大和町）にサクラやモミジ、ハナミズキ等を植樹した。



学校の誇れるものの紹介



全国大会出場のボクシング部・アーチェリー部

JGAP維持・認証